

114 ハヤブサ

(ハヤブサ目)

兵庫県ランク:B

Falco peregrinus

繁殖個体群:B 越冬個体群:C 通過個体群:調

◎国内希少野生動植物種

環境省ランク:VU(絶滅危惧Ⅱ類)

種の概要

亜種ハヤブサが北海道、本州、四国、九州で留鳥、沖縄で冬鳥。兵庫県では周年見られる。海岸、河口、湖沼、原野や農耕地などに生息し、海岸の断崖で営巣する。飛行は速く直線的で、小型から中型の鳥類を急襲して捕食する。その他の亜種ではシマハヤブサが硫黄列島で留鳥として分布するほか、シベリアハヤブサとオオハヤブサの迷行例が各地で記録されている。



写真提供:三谷康則

国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(尼崎市)、明石市、西宮市、洲本市、(芦屋市)、伊丹市、(相生市)、豊岡市、加古川市、(赤穂市)、(宝塚市)、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、(加東市)、たつの市、稲美町、(播磨町)、神河町、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内には周年生息・繁殖しているが、個体数は少ない。秋から冬には、他地域や大陸からの越冬個体が飛来するため個体数は増える。近年減少していたが、最近では、都市構造物で繁殖する個体が出現し、個体数・分布域とも回復する傾向がみられる。



写真提供:三谷康則

保護上の留意点

繁殖地は極めて限られているので、営巣場所の保全や繁殖期間中の工事や人の立ち入り制限などが必要。また、最近では人工構造物で営巣するつがいが出現しているが、それぞれの環境下における有効な保全対策を検討することが必要。



写真提供:但馬野鳥の会